

# 日々つくり変えられる喜び イースターを迎えて

大 田 詠 子

上ヶ原キャンパスにて4年、神戸三田キャンパスにて約7年過ごした後、2014年4月から西宮聖和キャンパスにて働くことになりました。それぞれに整えられた美しいキャンパスですが、場所のもつ雰囲気は随分と異なり、新しい気持ちで春を過ごしています。

さて、みなさんはこれまで自分という存在が日々変化するのを実感したことがありますか？スポーツに打ち込んでこられた方は、トレーニングによって昨日できなかったプレーが今日できるようになる、快感にも似た実感を覚えたことがあるでしょう。また音楽に取り組んでこられた方も、美しいフレーズを、血の出るような鍛錬の末に気持ちをこめて表現できるようになる、その楽しさを感じる日々を送ってきたかもしれません。

そういった経験ももちろん貴重ですが、これまでとは大きく異なるレベルで、関西学院大学では自分自身の変化・成長を感じてほしいと思います。本学では自分の内面や価値観・世界観が揺り動かされるようなたくさんのチャンスが、みなさんを待っています。それは125年前、若きアメリカ人宣教師 W.R. ランバスがまったく新しい価値観を日本人の若者に投げかけようと関西学院を設立し、その精神が今も息づいているからに他なりません。

キリスト教の暦では、4月20日、イエスの復活を祝うイースターを迎えました。イースターは、イエスの十字架の死と復活によって人間が罪と死から救い込まれたという大きな喜びを告げる祝いの日です。キリスト教では、「新しい命が与えられた」とも表現し、命のシンボルとして絵付けしたタマゴを飾ったりします。つまり、自分を超越する大きな力によって新たな価値観が与えられ、日々自己が新たにつくり変えられる、その大きな恵みと喜びをキリスト教は伝えてきたのです。

ひたむきな研究者、様々な学術交流プログラム、地球の裏側からやってきた留学生、そして偶然隣に座ったクラスメイト…、関西学院大学での出会いには限りがありません。どうか自分という存在が大きく豊かに変えられ成長する、その出会いのチャンスを見逃さない鋭敏さと、恐れずに新しい場所に飛び込んでいく勇敢さを持ち、4年間を過ごしてください。

みなさんの人生が豊かな実りと喜びにあふれたものとなることを心からお祈りしています。

(西宮聖和キャンパス【教育学部担当】職員)